

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		日本の経済 Economy of Japan				担当者所属 職名・氏名		経済学研究科 教授 田中 彰	
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	日本理解			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	木3		配当学年	1回生	対象学生	留学生
[授業の概要・目的]									
戦前から戦後までの日本経済の歴史を概観する。戦前と戦後の相違点や共通点がわかるように、できるだけ長期に連続したデータを用いながら考察する。まず各時代の全体像を概観し、次に各論でいくつかのテーマをとりあげ、戦前～戦後の変化を捉える。									
[到達目標]									
戦前・戦後の日本経済に関する基礎知識を得るとともに、現代日本経済の到達点や諸問題について歴史的かつ幅広い視角から考察する能力を養う。									
[授業計画と内容]									
1. イントロダクション 2. 戦後日本経済の長期動態 第I部 現代日本経済システムの軌跡 3. 日本型経済システムの源流論 4. 日本的労使関係の成立 5. 設備投資と大量生産 6. 開発輸入と加工貿易 7. 下請制からサプライヤーシステムへ 8. メインバンク制と企業集団 第II部 「失われた20年」 9. 人口減少・高齢化と日本経済 10. 国際生産ネットワークの時代 11. 変わる銀行・商社のビジネス 12. 日本的労使関係をを超えて 13. まとめ 予備									
[履修要件]									
日本語・日本文化研修留学生専用科目									
特にないが、日本の近現代史、日本経済に関する入門書を自習する、もしくは、他の授業などで習得していることが望ましい。									
[成績評価の方法・観点]									
出席、ディスカッションへの貢献、定期試験により総合的に評価する。									
----- 日本経済(2)へ続く ↓ ↓ ↓ -----									

日本の経済(2)

[教科書]

使用しない

教科書は使用せず、講義資料を配布する（KULASISから受講者がダウンロードする方式：詳しくは初回授業で説明する）

[参考書等]

（参考書）

橋本寿朗・宮島英昭・長谷川信・齊藤直『現代日本経済 第3版』（有斐閣）ISBN:978-4-641-12443-1（2011）

浅子和美・飯塚信夫・篠原総一編『入門・日本経済 第5版』（有斐閣）ISBN:978-4-641-16456-7（2016）

[授業外学修（予習・復習）等]

講義資料に事前に目を通し、予習すること。復習も同様に講義資料のほか、参考文献なども含めて幅広く学習すること

[その他（オフィスアワー等）]

e-mailなどで事前にアポイントメントをとって下さい。

[主要授業科目（学部・学科名）]